

営農ウィークリーNEWS



2020年産米農産物検査開始



大原支店での農産物検査

9月15日(火)、大原支店で2020年産米の農産物検査を実施しました。
結果：検査数量118袋【1等38%、2等47%、3等15%】
等級を下げた大きな要因は、高温障害による背、腹白粒といった
未熟粒によるものでした。



農産物検査の様子



抽出した
サンプル米
(背、腹白粒の
発生が目立つ)

水稻採種圃場出穂期審査の実施

9月14日(月)、向島で水稻採種圃場の出穂期審査
を実施しました。

- 審査基準
- 1、圃場全体の状態
 - 2、草丈、出穂期の違い
 - 3、籾の違い
 - 4、病害虫や雑草の有無



異品種が混じらず健全で良質な優良種子生産のため、
上記の基準で厳正に審査しました。



水稻出穂期審査の様子

水稻出穂期審査とは？

水稻圃場の稲から4~5割の穂が出た時期のことを
出穂期(しゅつすいき)という。

優良種子を生産し、普及、配布するために、出穂
期に水稻採種圃場へ行き、種籾が順調に育っている
かを確認し審査を行います。

—TAC information—

京おくら通信第2号!



京おくら出荷部会員の圃場

京おくら出荷は、8月は高温と乾燥の影響を受け、下旬は出荷量が伸び悩みましたが、9月に入り、天候も安定したことで、順調に進んでいます。
京おくらに関する様々な情報を出荷部会員の皆様にお届けし、生産技術向上出荷量増大を目的に「京おくら通信」を発行しています。今回、第2号を発行しました。
裏面に掲載していますので、是非ご覧ください！
次年度へ向け、生産者を随時募集しています！興味のある方は、JAまでお問い合わせ下さい！

京おくら通信

1 実績（9月11日まで）

9月に入って袋100円を超える日も出てきました。追肥を行い、これからの収量の確保を図っていきましょう。

	数量(袋)	販売金額	平均単価
6月	147	22,490	153
7月	6,471	802,515	124
8月	12,730	942,738	74
9月	1,680	153,570	90

2 今後の管理

1) 肥培管理

- 樹勢が弱ってきています。月に2回は追肥を行いきましょう。
- 1回の施用量は、1a当り17-0-17で3～4kg、14-14-14で4kg程度
肥料が抜けやすい圃場では、やや多めに施用しましょう。
- 基本的には通路施用ですが、畝幅の大きい場合は、畝上の施用や、穴肥えなどで工夫をお願いします。

2) 下葉、わき芽の整理 樹勢が弱い場合は、肥大中の果実の下の葉を1～2枚残しておきましょう。

3) 病虫害防除

カメムシ、アブラムシの被害が増えてきました。ダントツ水溶剤2000～4000倍、スタークル顆粒水溶剤2000倍、トレボン乳剤1000倍、等で防除を行ってください。それぞれ、収穫前日まで散布できます。

3 生理障害等について

1) イボ果

オクラの実が小さい時に、副がく片（収穫時では実の元に出ている細長いもの）が接触すると発生すると言われていています。多肥や肥切れ、乾燥などの条件で助長されます。品種間差もあり、「グリーンソード」は出にくい品種とされています。



2) 赤実（アントシアン果）、赤茎（写真）

植物体が水分欠乏の状態が続くと発生すると言われていています。土壌の乾きが続く時は灌水を行きましょう。また、低温によっても、同様の症状が発生します。